

② キャリアコンサルタント*ラボラトリー*

ソーシャル・ネットワーキング・サービスを使って 参加者同士がコミュニケーションし知恵を共有

有限会社キャリアウイング

代表 吉田 但

(特定非営利活動法人 日本キャリア開発協会 所属 /
厚生労働省指定キャリア・コンサルタント 能力評価試験
合格キャリア・カウンセラー)



キャリアコンサルタント*ラボラトリー*

<http://www.career-wing.jp/CCL/>

■求められるキャリア・コンサルティング情報のデータベース化

キャリア・コンサルティングが社会に求められ認知を得るためには、対人支援の機軸となる学問の基礎と、実践活用の応用の2つが両輪として機能することが求められるのだと思います。また、個人活動が主体となるキャリア・コンサルティングにおいては、人的ネットワーク&コミュニケーションによる情報共有&活用も大切なことになるでしょう。

しかし現状は、学問的な情報を得ることはできても、実践につながる幅広い専門別の情報を手にすることは、コミュニケーション環境の獲得と併せて難しい状況があるかと思えます。

対人支援の種別「クライアント属性・年齢・性別・状況・目的」など毎に、「汎用事例・実務オペレーション・特徴/傾向・対応ノウハウ」の実践上の情報を集約したDB/ライブラリー化を行い、支援毎の専門性に対するメソッドを確立することは、キャリア・コンサルティングの機能・役割・効果を実証することになるでしょう。

これにより、支援効果の有効性が高まれば、キャリア形成支援の社会認知を得る一策にも、また、次世代のキャリア・コンサルタント(以下、

CC)の育成にもつながることになるだろうと考えます。

■ナレッジの蓄積、メンバー同士の交流でシナジーが生まれる

キャリアコンサルタント*ラボラトリー*(以下、CCL)では、これらの実現のため、mixiやFacebook等により身近になったWeb上のソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)を活用し、「所属団体/背景・資格レベル・活動状況・思想・信条・地域」を超えて、CC参加者自らが思うテーマに応じて「経験・意見・悩み・ノウハウ」等々のナレッジとシェアの実践を行っています。

また、CCL参加者同士が直に集まり、勉強会・情報交換等の人的交流を目的にしたオフ会も実施しています(過去、関東・関西で5回実施)。

これらの活動の中から、お互いの強みを活かしてパートナーシップを組み、新たなセミナーの実施をされたり、新しい資格を取得された方の情報に基づき、CCの付加価値の獲得へと新たな目標行動を起こされた方もいらっしゃいます。

また、企業内のキャリア・コンサルティングの推進に参考意見をもらい自社の組織改革に向かわれたり、CCの求人募集についてメンバーへ協力を仰ぎ、適任者の確保が叶った

り等々、情報の共有・活用が日常的な支援活動へのプラス効果のみならず、職能開発に通じたコミュニケーションに転じて、いくつもシナジーが生まれている状況もあります。

■自己研鑽の手段としてSNS活用

今後は、SNSの可能性を踏まえ、DB/ライブラリー化の一端として、支援別の専門家をサイト内にご招待してのレクチャー実践、理論実践のトレーニング~逐語録の検討・SVやピアトレーニングの簡易版等としても機能を深めていきたいと考えています。

また、さらに参加者が増えれば、要望の多いオフ会の開催も各地で定期的に行い、職能に通じる活きたCCの交流活動の場の形成に向かっていきたいとも思っています。

CCLは、まだここへ向かう一歩を踏み出したばかりです。「一つのテーマに多視点を心得て形とし、対人支援の実践に活かしていく」—そんな思いの輪が広がり、専門性の幅と奥行きがより明確になることで、「キャリア形成の有効性・必要性が社会により明確に示せるようになる」との思いを抱きつつ、CCの自己研鑽の手段として、また、CC自身のキャリア形成を見つめる機会の場として活動を行っています。